

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成26年4月28日 NO.5

ようこそ国立第七小学校へ！（うさぎさんが仲間入り）

4月25日（金）国立第七小学校に新しい仲間が増えました。その仲間とは、二匹のウサギです。国立市内のある方から譲ってもらい、今後、飼育栽培委員会を中心に学校全体で世話をしていきたいと考えています。しばらくは、ニワトリ小屋を仮の住まいとしておきますが、今後、飼育する場所が変更する場合があります。ご来校の際には、ぜひ、かわいいウサギとご対面して下さい。



生き物を通してこそ、生き物への慈しみの思いや願いが生まれるものだと常々感じております。保護者会でもお話ししたように、本年度は『花いっぱい・生き物いっぱい』の学校づくりを推進していきたいと考えています。その第一段階として、校内の畑や花壇などの生き物環境を整えると同時に、新たにウサギを全校で飼うことにしました。長い耳とかわいい目、誰からも愛され親しみが感じられるウサギを飼うことは、本校児童の豊かな心の育成にもきっと役立つものと思います。新たな友達のウサギを見つめる子ども達の、やさしくあたたかな眼差しに、生命の尊さや本物の価値の高さを感じました。なお、アレルギーなどで問題がある場合には、なるべく近づかないように注意喚起もしていきますのでよろしくお願いします。

谷保たんぼたんけん隊（2年生）

4月25日（金）4時間目に第七小学校の2年生全員で、ハケ下の田んぼに「谷保たんけん」に行ってきました。途中、道がとてもせまかったのですが、2年生の子ども達は、安全歩行に十分注意していて、しっかりと歩けとても感心しました。立派なお兄さん・お姉さんになりましたね。



道々にはいろいろな春の花がたくさん咲いており、ハケの樹木のベルトは、様々な緑色を見せてくれました。春風さわやかな中、田んぼに到着。一面のレンゲ畑を見た子ども達は大喜びの様子で、思い切り走り回っていました。スズメノテッポウという草で草笛を吹いたり、レンゲソウや色とりどりの花で花束を作ったりと大忙し。いろいろな虫やカエルをゲットして、にんまりと笑顔の子ども達。短い時間でも、2年生をここに連れてきてよかったと思いました。

学校近くにこれだけの豊かな自然が見られるのも、第七小学校の特徴でもあると思います。8つの小学校の中でも、その自然度の高さは一番と言えるでしょう。今後も機会あるごとに、子ども達を校外に連れ出しては、谷保の国立の自然に触れさせていきたいと考えています。

お休みの日など、ちょっと足を伸ばしてご家族で訪れるのも、楽しいのではないのでしょうか。なお、土地所有者のKさんには、事前に学校として自然観察の場として利用させてもらうことは、お願いしてありますのでご安心下さい。また、事故やけがのないように楽しんで下さい。場所などの詳細は、国立てくてく6号をご覧ください。